

本耶馬溪町観光課題への提案とそば粉を使った そばんこスパイスの販売戦略

～令和7年度 2年目の活動～



別府溝部学園短期大学 食物栄養学科1・2年生
 コアメンバー：阿部海渚 松田蒼史 山根春奈 徳丸亜美
 指導教員：准教授 江島陽子 助手 田端由梨乃

本耶馬溪
ほんまやばい汁～



大学連携で期待すること

- ◆そばを活かした観光振興
- ◆若い学生の視点から見た本耶馬溪観光の魅力発掘
- ◆地域住民を巻き込んだ持続的な取組み
- ◆SNSを活用した観光PR
- ◆本耶馬溪のファンを創出し、関係人口増につながる取組み

経緯／課題／目的／取組内容

◆令和6年度の本耶馬溪町への地域貢献として、本耶馬溪町の魅力発見を目的に「地域の宝探し教室の実施」「そば粉のスパイス考案」を行っており、その活動を引継いだ。
 ◆本耶馬溪町は観光課題である「観光客の減少」「そば粉の需要不足」を解決するべく、若い世代に「本耶馬溪町」のファンになってもらうために2つの研究に取り組んだ。



【取組み内容】

- ①本耶馬溪町の魅力を若い世代に知ってもらうための観光方法の提案
- ②「そばんこスパイス」の商品化と販売戦略

研究実施日程・活動の様子

- 4月：本耶馬溪支所より地域課題の説明会・顔合わせ
 本耶馬溪町の現地調査フィールドワーク開始
 第1回フィールドワーク (R7.4.26)
- 5月：「そばんこスパイス」試作開始～
- 6月：第2回フィールドワーク (R7.6.7)
 第3回フィールドワーク (R7.6.22)
- 7月：第4回フィールドワーク (R7.7.5)
 学外研修に向けてビンゴカード・しおりの作成
- 8月：Instagram「出張みぞべ」開設・撮影・PR投稿開始～
- 9月：学外研修(学生モニター) (R7.9.26～27)
- 10月～12月：「そばんこスパイス」パッケージ決め
 「そばんこスパイス」最終仕上げ
 「そばんこスパイス」のポスター作成
 商品のPR動画撮影(活動の様子を投稿)
- 【今後の予定】
 2月：本耶馬溪町あったかフェス参加 (R8.2.15)
 「そばんこスパイス」試食販売



学外研修の「しおり」作成



「スパイス」試作の様子



打合せの様子



フィールドワーク開始時



【学外研修】産×学×官連携
 本耶馬溪町での体験活動の様子



本耶馬溪町の魅力を発信！
 若い世代に興味をもってもらうためにInstagramでのPR活動

まとめ

①本耶馬溪町の魅力を若い世代に知ってもらうための観光方法として「ビンゴカードを使用した観光散策」の提案を行った。福澤諭吉先生の歴史を学びながら点在しているお店や観光スポットを、いかに効率よく飽きずに楽しんでもらえるのかを考え、手作りのカードケースに入れたビンゴカードを首からぶら下げて使用してもらった。その結果、モニターとして活動に協力してもらった溝部の学生から、楽しかったとの高評価をいただいたためこの提案となった。



②「焙煎そば粉」と「山椒の粉」を組み合わせることで、そばの風味がそのまま感じられる『そばんこスパイス』の完成版が出来上がった。また、その販売戦略としてポスターの制作と「インフルエンサーのわたるさん」にご協力いただきInstagramの投稿やラジオの広報活動も行い、新聞に掲載された。



R7年11月24日月曜日
 大分合同新聞掲載

成果・感想

- ①本耶馬溪町の観光方法として散策に使用できる「ビンゴカード」の提案。
- ②本耶馬溪町の道の駅で販売できる「そばんこスパイス」の商品化。
- ③「そばんこスパイス」のPRポスターの制作およびPR活動。

上記すべてを本耶馬溪町(道の駅 耶馬トピア)に寄与しました。

私たちは市町村の課題解決を通して「本耶馬溪という町」をととても好きになりました。多くの貴重な体験をさせていただきましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。